2026年11月16日

各　位

会　社　名　データセクション株式会社
代 表 者 名　代表取締役社長執行役員CEO　石 原 紀 彦
（コード番号：3905 東証グロース）
問い合わせ先　法 務 部 長　野 澤 祐 一
TEL. 050-3649-4858

為替差損、リース解約損及び解約損失引当金繰入額の計上に関するお知らせ

当社は、2027年３月期第２四半期（中間期）の連結決算において、リース解約損及び解約損失引当金繰入額を計上することとなりましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

１．営業外費用（為替差損）の計上について

2027年３月期第２四半期連結会計期間（2026年７月１日～2026年９月30日）において、当社及び当社子会社が保有する外貨建資産・負債の期末（2026年９月末日）時点の為替相場による評価替え等に伴い、759,809千円の為替差損を営業外費用として計上いたします。

なお、第１四半期連結会計期間（2026年４月１日～2026年６月30日）において為替差益171,008千円を計上しているため、当第２四半期連結累計期間（2026年４月１日～2026年９月30日）においては、588,801千円の為替差損を営業外費用に計上いたします。

２．特別損失（リース解約損及び解約損失引当金繰入額）の計上について

当社は、受注案件向けに開設プロジェクトを進めていたAIデータセンターのうち、海外の１施設について、当該顧客とのNVIDIA製B200搭載サーバーからB300搭載サーバーへの仕様変更等による条件変更協議が長引き、稼働開始スケジュールが大幅に遅延したこと等により、2026年８月31日付で当該AIデータセンターの物件オーナーから施設利用契約の解除にかかる意思表示を受けました。その後の当該物件オーナーとの協議等を経て、本日開催の当社及び当社子会社Datasection Australia Pty. Ltd.の取締役会において、この解除に応じるとともに、当該物件オーナーと代替物件や金銭補償に向けた協議を進める方針を決定いたしました。

これに伴い、当該賃借施設利用にかかるリース解約損として2,751百万円、通信回線の長期契約にかかる解約損失引当金繰入額として314百万円を特別損失として計上いたしました。

３．業績への影響について

上記につきましては、本日公表の「2027年３月期　第２四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕(連結)」に反映しております。

以上